

問1 水が目に見えないすがたに変わったものを何といいますか。

問2 水が空気中に出ていく量と、水を置く場所のあたたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。

問3 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど減らないのはなぜですか。

問4 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水が減っていくのはなぜですか。

問5 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

問6 しめった地面がかわいていくのは、地面の中の水がどうなるからですか。

問7 水が空気中に出ていって、水じょう気になることを何といいますか。

問8 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。

問9 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

問10 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

問11 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。

問12 水が温度によってすがたを変えると、気体の状態になっているものの名前は何ですか。

問13 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

問14 水蒸気が液体である水に変わるのは、水蒸気をどのようにしたときですか。

問15 プラスチックの容器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷凍庫で凍らせると、容器や氷の様子はどうなりますか。

問16 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 水じょう気	水が目に見えないすがたに変わったものを水じょう気といいます。
問2	答え 置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。	水は、置く場所があたたかい（温度が高い）ほうが、空気中に出ていく量が多くなります。
問3	答え 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気の中に出ていくのを防ぐため、水の量はほとんど減りません。
問4	答え 水がじょう発して空気中に出ていくから	水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減っていきます。
問5	答え 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問6	答え 水じょう気になって空気中に出ていくから	地面がかわくのは、地面の中にある水が水じょう気に変化して、空気の中に出ていくためです。
問7	答え じょう発	水が水じょう気になることを「じょう発」といいます。じょう発は、水面から少しずつおこります。
問8	答え 100℃近くのまま上がらなくなる	水がふっとうしている間は、熱し続けても温度は100℃近くのまま上がらなくなります。
問9	答え 水蒸気	水蒸気は目に見えない気体です。湯気や水は目に見える液体で、氷は固体です。
問10	答え ふっとう	水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現象を「ふっとう」といいます。
問11	答え 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを湯気といいます。
問12	答え 水蒸気	水が気体の状態になったものを「水蒸気」といいます。氷は固体、水は液体の状態です。
問13	答え 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問14	答え 冷やしたとき	気体の水蒸気は、冷やすことで液体である水に戻る性質があります。
問15	答え 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ	水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し上げます。
問16	答え さかんにあわを出しながらわき立つ。	水がふっとうすると、温度が100℃近くになり、さかんにあわを出しながら激しくわき立ちます。

- 問1 水が冷やされて凍^{こお}り始めるときの温度は、何℃ですか。
- 問2 水が空気に出ていく量と、水を置く場所のあたたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。
- 問3 水が空気に出ていって、水じょう気になることを何といいますか。
- 問4 気体である水蒸^{すいじょうき}気を冷やしたとき、どのようなすがたに変わりますか。
- 問5 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。
- 問6 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。
- 問7 水蒸^{すいじょうき}気が液体である水に変わるのは、水蒸^{すいじょうき}気をどのようにしたときですか。
- 問8 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたものですか。
- 問9 プラスチックの容^{ようき}器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷凍庫で凍らせると、容^{ようき}器や氷の様子はどうなりますか。
- 問10 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。
- 問11 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。
- 問12 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど減^へらないのはなぜですか。
- 問13 水が冷^{こお}えて凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。
- 問14 水が温度によって、氷、水、水蒸^{すいじょうき}気と、すがたを変えることを何といいますか。
- 問15 水が凍^{こお}り始めてから、すべての水が完全に凍^{こお}ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。
- 問16 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状^{じょうたい}態のことを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 0℃	水は冷やしていくと、0℃になったときに凍り始めます。 こお
問2	答え 置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。	水は、置く場所があたたかい（温度が高い）ほうが、空気中に出ていく量が多くなります。
問3	答え じょう発	水が水じょう気になることを「じょう発」といいます。じょう発は、水面から少しずつおこります。
問4	答え えきたい 液体である水	すいじょうき 気体である水蒸気は、 えきたい 冷やされると液体である水に変わります。
問5	答え じょう発して水じょう気になったから	水は熱していなくても、まわりの空気中へ少しずつじょう発して水じょう気になるため、水のかさがへっていきます。
問6	答え 100℃近くのまま上がらなくなる	水がふっとうしている間は、熱し続けても温度は100℃近くのまま上がらなくなります。
問7	答え 冷やしたとき	すいじょうき 気体の水蒸気は、 えきたい 冷やすことで液体である水に もど 戻る性質があります。 せいしつ
問8	答え 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水 づぶ のつぶに変化したものです。
問9	答え 氷の体積が大きくなって、 ようき 容器が外側にふくらむ	水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し広げます。
問10	答え 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水 づぶ のつぶになったものを湯気といいます。
問11	答え ふっとう	水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現象を「ふっとう」といいます。 げんしょう
問12	答え 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気の中に出ていくのを防ぐため、水の量はほとんど減りません。 ふせ
問13	答え 大きくなる	水は凍って氷になると、体積（かさ）が大きくなるという性質があります。 こお せいしつ
問14	答え じょうたいへんか 水の状態変化	水が温度によって、氷（固体）、水（液体）、水蒸気（気体）とすがたを変えることを「水の状態変化」といいます。 えきたい すいじょうき じょうたいへんか
問15	答え 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。 こお こお
問16	答え 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態を固体といいます。 じょうたい

問1 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない^{じょうたい}状態のことを何とい
いますか。

問2 固体である氷を温めたとき、何に変化しますか。

問3 空気の中にある^{すいじょうき}水蒸気が、冷たいものにふれて冷やされ、^{すいてき}水滴^{げんしょう}になってつく現象を何と
いいますか。

問4 水が冷やされて^{こお}凍り始めるときの温度は、何℃ですか。

問5 水が冷えて^{こお}凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。

問6 水が温度によって、氷、水、^{すいじょうき}水蒸気と、すがたを変えることを何といいますか。

問7 雨がふったあとにしめった地面がかわくとき、地面の中の水はどのようなすがたになっ
て空気中に出ていきますか。

問8 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたもので
すか。

問9 しめった地面がかわいていくのは、地面の中の水がどうなるからですか。

問10 水を入れたコップにふたをして置いておくと、中の水の量はどうなりますか。

問11 水が^{こお}凍り始めてから、すべての水が完全に^{こお}凍ってしまうまでの間、温度はどのようにな
りますか。

問12 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど^へ減らないのはなぜで
すか。

問13 水が目に見えないすがたに変わったものを何といいますか。

問14 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

問15 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれで
すか。

問16 水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていきます。このとき、入れ物の中の
水全体の量はどうなりますか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状 態 じょうたい を固体といいます。
問2	答え えきたい 液体である水	固体である氷を温めると、液体 えきたい である水に変化します。
問3	答え けつろ 結露（けつろ）	空気中の水蒸気 すいじょうき が冷やされて水滴 すいてき になる現 象 げんしょう を「結露」 けつろ といいます。
問4	答え 0℃	水は冷やしていくと、0℃になったときに凍り始めます。 こお
問5	答え 大きくなる	水は凍って氷になると、体積（かさ）が大きくなるという性質 せいしつ があります。
問6	答え じょうたいへんか 水の状態変化	水が温度によって、氷（固体）、水（液体 えきたい ）、水蒸気（気体 すいじょうき ）とすがたを変えることを「水の状態変化 じょうたいへんか 」といいます。
問7	答え 水じょう気	しめった地面がかわくとき、地面の中の水は目に見えない「水じょう気」になって空気中に出ていきます。
問8	答え 空気中で冷やされて、目に見える水のつづになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水のつづに変化したものです。
問9	答え 水じょう気になって空気中に出ていくから	地面がかわくのは、地面の中にある水が水じょう気に変化して、空気の中に出ていくためです。
問10	答え ほとんど減らない	コップにふたをしておくと、中の水が空気中に出ていかないため、水の量はほとんど減りません。 へ
問11	答え 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。 こお
問12	答え 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気の中に出ていくのを防ぐため、水の量はほとんど減りません。 ふせ へ
問13	答え 水じょう気	水が目に見えないすがたに変わったものを水じょう気といいます。
問14	答え 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問15	答え 氷	固体は氷や鉄のように、かたまりになっていて形を変えられない状 態 じょうたい のことです。水や空気は形が変わるため固体ではありません。
問16	答え 減る	水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていくため、水の量は減ります。 へ

問1 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。

問2 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

問3 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない^{じょうたい}状態のことを何といいますか。

問4 水が空気中に出ていく量と、水を置く場所のあたたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。

問5 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

問6 水が冷やされて^{こお}凍り始めるときの温度は、何℃ですか。

問7 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど^へ減らないのはなぜですか。

問8 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれですか。

問9 空気の中にある^{すいじょうき}水蒸気が、冷たいものにふれて冷やされ、^{すいてき}水滴になってつく^{げんしやう}現象を何といいますか。

問10 水が冷えて^{こお}凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。

問11 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

問12 水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていきます。このとき、入れ物の中の水全体の量はどうなりますか。

問13 気体である^{すいじょうき}水蒸気を冷やしたとき、どのようなすがたに変わりますか。

問14 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。

問15 水を入れたコップにふたをして置いておくと、中の水の量はどうなりますか。

問16 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、^{ようき}容器によって自由に形を変えられる^{じょうたい}状態を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え じょう発して水じょう気になったから	水は熱していなくても、まわりの空気中へ少しずつじょう発して水じょう気になるため、水のかさがへっていきます。
問2	答え 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問3	答え 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状 態 ^{じょうたい} を固体といいます。
問4	答え 置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。	水は、置く場所があたたかい（温度が高い）ほうが、空気中に出ていく量が多くなります。
問5	答え ふっとう	水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現 象 ^{げんしょう} を「ふっとう」といいます。
問6	答え 0℃	水は冷やしていくと、0℃になったときに凍 ^{こお} り始めます。
問7	答え 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気中に出ていくのを防 ^{ふせ} ぐため、水の量はほとんど減 ^へ りません。
問8	答え 氷	固体は氷や鉄のように、かたまりになっていて形を変えられない状 態 ^{じょうたい} のことで、水や空気は形が変わるため固体ではありません。
問9	答え けつろ（けつろ） 結露	空気中の水蒸気 ^{すいじょうき} が冷やされて水滴 ^{すいてき} になる現 象 ^{げんしょう} を「結露 ^{けつろ} 」といいます。
問10	答え 大きくなる	水は凍 ^{こお} って氷になると、体積（かさ）が大きくなるという性質 ^{せいしつ} があります。
問11	答え すいじょうき 水蒸気	水蒸気 ^{すいじょうき} は目に見えない気体です。湯気や水は目に見える液体 ^{えきたい} で、氷は固体です。
問12	答え 減 ^へ る	水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていくため、水の量は減 ^へ ります。
問13	答え えきたい 液体である水	気体である水蒸気 ^{すいじょうき} は、冷やされると液体 ^{えきたい} である水に変わります。
問14	答え さかんにあわを出しながらわき立つ。	水がふっとうすると、温度が100℃近くになり、さかんにあわを出しながら激しくわき立ちます。
問15	答え ほとんど減 ^へ らない	コップにふたをしておくと、中の水が空気中に出ていかないため、水の量はほとんど減 ^へ りません。
問16	答え えきたい 液体	はっきりした形がなく、入れる容器 ^{ようき} に合わせて自由に形を変えられる状 態 ^{じょうたい} のことを液体 ^{えきたい} といいます。

問1 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

問2 固体である氷を温めたとき、何に変化しますか。

問3 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

問4 すいじょうき水蒸気や空気のように、目に見えない状じょうたい態のことを何といいますか。

問5 プラスチックの容ようき器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷れいとうこ凍庫で凍らせると、容ようき器や氷の様子はどうなりますか。

問6 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたものですか。

問7 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状じょうたい態のことを何といいますか。

問8 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれですか。

問9 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

問10 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、容ようき器によって自由に形を変えられる状じょうたい態を何といいますか。

問11 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水がへ減っていくのはなぜですか。

問12 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

問13 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。

問14 水が凍り始めてから、すべての水が完全こおに凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

問15 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。

問16 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え すいじょうき 水蒸気	すいじょうき 水蒸気は目に見えない気体です。湯気や水は目に見える液体で、水は固体です。
問2	答え えきたい 液体である水	えきたい 固体である氷を温めると、液体である水に変化します。
問3	答え ふっとう	げんじょう 水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現象を「ふっとう」といいます。
問4	答え 気体	すいじょうき じょうたい 水蒸気や空気のように、目に見えない状態のことを気体といいます。
問5	答え 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ	ようき 水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し広げます。
問6	答え 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水のつぶに変化したものです。
問7	答え 固体	じょうたい 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態を固体といいます。
問8	答え 氷	じょうたい 固体は氷や鉄のように、かたまりになっていて形を変えられない状態のことです。水や空気は形が変わるため固体ではありません。
問9	答え 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問10	答え えきたい 液体	ようき じょうたい えきたい はっきりした形がなく、入れる容器に合わせて自由に形を変えられる状態のことを液体といいます。
問11	答え 水がじょう発して空気中に出ていくから	じょう 水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減っていきます。
問12	答え 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問13	答え 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを湯気といいます。
問14	答え 0℃のまま変わらない	こお ごお 水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問15	答え じょう発して水じょう気になったから	水は熱していなくても、まわりの空気中へ少しずつじょう発して水じょう気になるため、水のかさがへっていきます。
問16	答え さかんにあわを出しながらわき立つ。	水がふっとうすると、温度が100℃近くになり、さかんにあわを出しながら激しくわき立ちます。